

⑫ 公開実用新案公報(U) 平1-139284

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)9月22日

G 09 F 9/00
G 02 B 5/04
G 09 F 9/35
H 04 N 5/74
8/31

3 6 0

N-6422-5C
B-8708-2H
7335-5C
K-7605-5C
C-7033-5C

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑮ 考案の名称 液晶プロジェクト

⑯ 実 願 昭63-34892

⑰ 出 願 昭63(1988)3月16日

⑱ 考 案 者 小 川 昌 宏 東京都東大和市桜が丘2丁目229番地 カシオ計算機株式会社東京事業所内

⑲ 出 願 人 カシオ計算機株式会社 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 町田 俊正

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) 画像を表示する複数の液晶表示パネルと、これらの液晶表示パネルの画像を合成する画像合成装置とを備える液晶プロジェクトにおいて、

前記画像合成装置を、分割された複数のプリズムと、これらのプリズムに一体形成されたダイクロイックミラーとで構成するとともに、前記任意のプリズムの全反射作用および前記ダイクロイックミラーの反射作用と透過作用を利用して前記各液晶表示パネルの画像を合成するようにしたことを特徴とする液晶プロジェクト。

(2) 画像を表示する複数の液晶表示パネルと、これらの液晶表示パネルの画像を合成する画像合成装置とを備える液晶プロジェクトにおいて、

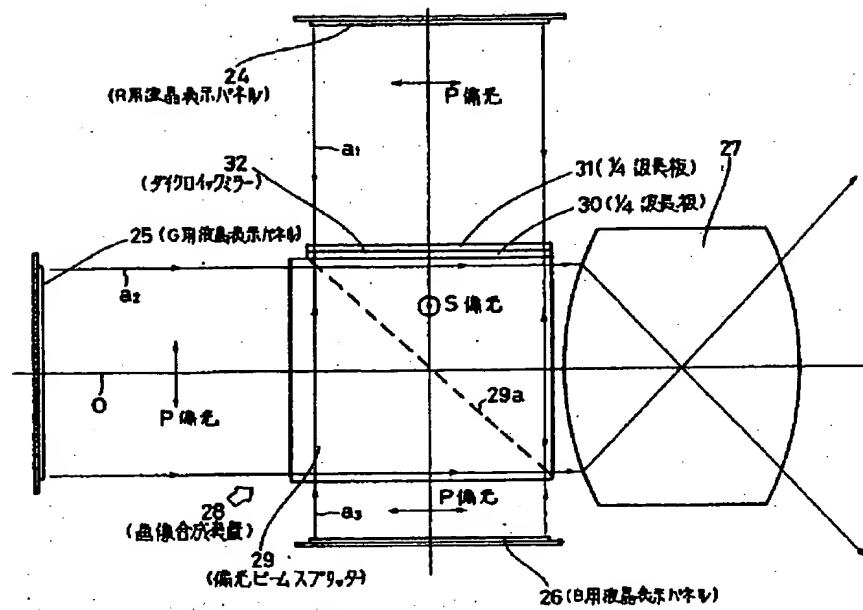
前記画像合成装置を、偏光ビームスプリッターと、波長板と、この波長板に一体形成されたダイクロイックミラーとで構成するとともに、前記偏光ビームスプリッターの反射と透過作用、前記波長板の偏光方向変換作用および前記ダイクロイックミラーの反射作用と透過作用を

利用して前記各液晶表示パネルの画像を合成するようにしたことを特徴とする液晶プロジェクト。

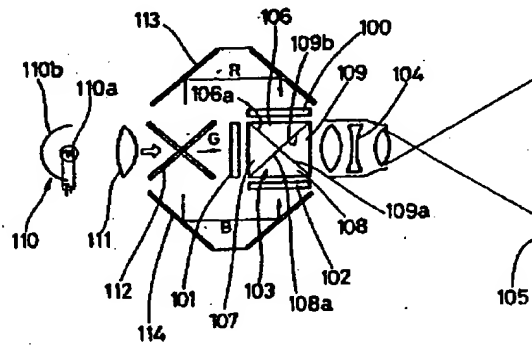
図面の簡単な説明

第1図はこの考案の第1実施例による液晶プロジェクトの要部構成を示した図、第2図は同第2実施例による液晶プロジェクトの要部構成を示した図、第3図は同第3実施例による液晶プロジェクトの要部構成を示した図、第4図は従来の液晶プロジェクトの概略構成図である。

1, 4, 24……R用液晶表示パネル、2, 15, 25……G用液晶表示パネル、3, 18, 26……B用液晶表示パネル、5, 19, 28……画像合成装置、8, 19……第1のプリズム、7, 20……第2のプリズム、11a, 19a, 21a……全反射面、21……第3のプリズム、8, 22……第1のダイクロイックミラー、9, 23……第2のダイクロイックミラー、29……偏光ビームスプリッター、30, 31……1/4波長板、32……ダイクロイックミラー。



第 3 図



第 4 図

THIS PAGE BLANK (USPTO)